

女性と女児の夢かなう未来のために  
つながる続くソロプチミスト 101



## “キャッチ！ SOS”キャンペーン

東北6県・北海道のソロプチミスト 83クラブでは3回の国際デーに合わせ女性的心と体が発信する“SOS”をキャッチしようと啓蒙活動を行いました。  
(活動報告提出 39クラブ：コロナ感染防止に配慮しながらの活動でした)



11月25日は「女性に対する暴力撤廃デー」

キャッチ！ SOS：暴力から脱出する勇気を持ちましょう

SI 秋田 2023.1.26

聖霊高校女子短期大学附属高校“S”クラブへ伺い、暴力に対し声をあげられる環境づくりの大切さをお伝えし、啓発チラシを使用して暴力撤廃の啓蒙活動をしてきました。“S”クラブ8名・担当教師1名・SI 秋田3名





# SI 千歳 2022.11.11~25

コロナ渦により、大きなイベント等を開催することができませんでしたので、昨年同様、「女性に対する暴力撤廃デー」を啓蒙するティッシュを作り、会員の経営する2店舗において、来店されたお客様にお渡ししました。



# SI 福島 2022.11.23

11月23日の福島大学の留学生20名と、会員10名の国際交流のイベントで、会員が女性への暴力撤廃を英語で説明し、男子学生も多くいたので理解を求める話し合いをしました。思い思いのカードを掲げて写真を撮りました。

**留学生、リンゴ狩り満喫**  
国際交流活動 ソロプチ福島が招待

国際ソロプチニスト福島の高明を招いた後、真っ赤は白、福島市上高瀬の「に育った(リンゴ)」を木だま東樹園に福島人の留学からも取り、甘さが溢れる生を招いた。参加者が「つなぐみずみずしい果実を味わい、リンゴ狩りを通じて親睦を深めた。留学生は福島の山川、プログラム委員会の国際交流活動の一環として、中国やベトナム、ドイツなどの留学、ティッシュ、バイオレンス防止生10人が参加した。兒玉進市副主から帰郷や取極方法を呼びかけられた。

リンゴ狩りを楽しんだ参加者



## SI 富良野 2022.11.21

例会中はキャッチ SOS キャンペーンのものぼりを掲げ、例会終了後に、会員 12 名で「NO! DV」のキャンペーンボードで写真撮影をしました。



## SI 八戸 2022.11.17

SI 八戸は、11 月例会開催前に 25 名の会員が紫色のリボンをつけ、“キャッチ！SOS”キャンペーンボードを掲げて集合写真を撮りました。今年もコロナ禍のため、いまだに対外的活動がほとんどできない状況ですが、例会中に「女性のための暴力を撤廃」に向けて、意識を高める話をしました。



## SI 本荘 2022.11.6

石沢地区文化祭にて、・フリーマーケット・SI 本荘のパネル展示・水林新生園の作品販売を行った際、のぼり旗を立て、来場された方々に A5 サイズのクリアファイルにパンフレットを入れお配りし、キャンペーンを行いました。SI 会員 7 名。

## SI 石巻サン・ファン 2022.12.20

石巻市蛇田公民館にてダンススポーツサークル(15名)の方々へ、チラシ&リーフレットを配布し「女性に対する暴力撤廃」の説明をし、啓発活動しました。



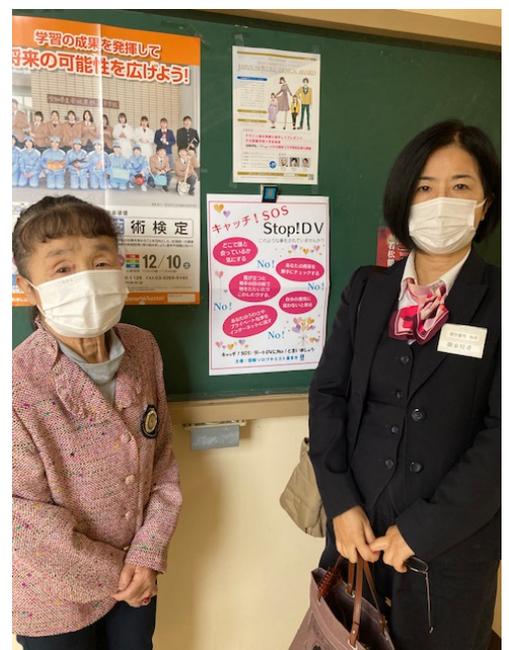
## SI いわき中央 2022.11.16

11月例会時、「女性に対する暴力撤廃の国際デー」(11/25)に合わせ、会長始め会員9名に『STOP DV!』のキャンペーンボードを掲げて貰い、ピンクの旗とともに“キャッチ SOS”キャンペーン活動を行いました。コロナ禍の中DVが増えている現状。少しでも減少してほしいと願うばかりです。



## SI 喜多方 2022.

コロナ禍、高校でも学校閉鎖など、感染が拡大している喜多方では、「女性に対する暴力をなくす運動」に参画したくても、チラシの手渡しなどはできませんでした。しかし、福島県立喜多方高校、福島県立耶麻農業高校の校長先生には主旨を御理解いただき、校内の掲示板にポスターを貼らせて頂きました。ご協力に感謝しておりますとともに、少しでも悩める生徒さんの手助けになれば嬉しいです。





## SI 釧路 2022.12.20

釧路少年鑑別支所、釧路刑務支所へ訪問し、支所長様や職員の方に「女性に対する暴力撤廃の国際デー」についてお話しさせていただきました。キャンペーンボード、DV シェルター釧路のパフレット、内閣府のポスターを持参し、受刑者も含め、関係者の皆さんにお声がけいただくようお願いをいたしました。暴力は犯罪であり、その被害者を助ける手があることを、本当に被害にあわれている方に知っていただきたいと願います。



## SI 釧路アミテイ 2022.11.3/11.22

11月3日、夢を拓く:茶話会会場で高専、高校生にDV に対する啓発、11月例会で会員に振興局のパフレットを使用しDV 撲滅の啓発を行った。またパンフレットを女性が手に取りやすい場所に配置する協力依頼をした。







## SI 名寄 2022.12.7

昨年は、QRコードを印刷したDV防止ホットラインポスターを名寄警察署内に掲示しました。今年度は警務課の石原主事のご厚意により、市内の交番・派出所・美深警察庁舎の計13ヶ所に掲示しました。



## SI 能代 2022.11.25

コロナ禍の中、少しでも私たちの活動が伝わるように試行錯誤した結果キャンペーンボードを入れたポケットティッシュをそれぞれ会員の職場に設置してもらうことにしました。介護施設、病院、美容室、衣料販売店、宴会場など10名ほどの会員に200枚のティッシュを分配しました。それぞれの職場では11月25日に一斉に配布、結果たくさんの方たちに喜んでいただき、活動も伝えることが出来ました。



## SI 帯広 2022.11.14

例会で行った蚤の市での収益を、学校等に生理用品の寄贈活動を行っている、子育て支援センターへ寄付を行いました。その際に、断固暴力反対の意見を頂き、「STOP! DV」「NO! と言う勇気を」のボードを掲げて写真を撮りました。



## SI 帯広みどり 2022.11.14

DVに悩む女性の為の「駆け込みシェルターとから」ホットラインカード500枚を、会員7名の事業所女子トイレ13箇所に設置。会長とプログラム・広報委員長の3名で同事務所に支援金7万円をお届けしました。

十勝毎日新聞

2022年(令和4年)11月19日



**女性支える活動応援**  
市内SI 2団体に寄付

DV被害低減へ  
SI帯広みどり  
国際ソロプチミスト(SI)帯広みどり(前田まり子会長)は14日、「駆け込みシェルターとから」(中村清人事務局長)に7万円を寄付した。

SI帯広みどりはDV被害を減らそうと、1997年から同シェルターへの寄付を続けている。この日は前田会長の他、鈴木伊津子プログラム委員長、板倉恵子広報委員長が帯広市内の斉藤道俊法律事務所を訪れ、中村事務局長に寄付金を手渡した。

同シェルターによると、昨年度の一時保護は3件。コロナ禍で入居者は減少しているが相談件数は急激に増加しているという。同シェルターは「今後も支援を続けていく」と話し、25日の「女性に対する暴力撤廃国際デー」に合わせ、会員で

寄付金を手渡した前田会長(右)と受け取った中村事務局長(左)

同シェルターの連絡先を書いたホットラインカードを配布するなど活動に取り組んでいく。  
(近藤周)

# SI 大館 2022.12.6

大館桂桜高校 S クラブに所属する JRC 部、工作部、家庭クラブの生徒たちといっしょに、暴力撤廃の啓発活動を行いました。パープルのリボンを飾り付けた大きなクリスマスツリーも場の雰囲気盛り上げてくれました。



《《 ニュースファイル 》》

**女性への暴力根絶を桂桜高で啓発活動**  
ソロプチニスト大館と S クラブ

国際ソロプチニスト大館（佐藤純子会長）と大館桂桜高校の「S クラブ」は6日朝、同校の登校時間帯に女性への暴力根絶を呼びかける「パープルリボンキャンペーン」を行った。玄関ホールで生徒にリーフレットを配布し、意識啓発を促した。

S クラブは生徒が所属校を拠点に学校や地域社会への貢献を目指す団体で、同校では2017年に発足。年間活動費などをソロプチニストが支援しており、国連が定める「女性に対する暴力撤廃の国際デー」（11月25日）に合わせて毎年共同で啓発活動を行っている。

この日はクラブに所属する JRC 部、工作部、家庭クラブの1、2年生とソロプチニストの会員ら約30人が、午前8時から玄関ホールに整列。「私たちはいじめをしません」「さわやかなあいさつ」といった手書きのメッセージを掲げ、登校する生徒に「デートDV」への啓発を促すリーフレットを手渡した。活動の象徴であるパープルリボンを飾り付けたクリスマスツリーも展示された。

佐藤会長は「現状として、世界では若者の多くが精神的、身体的被害にさらされている」と指摘。「声を上げていかねばならない」とし、「高校生から互いの人権を尊重し合える関係を築き、幸せな歩みを進めていってほしい」と話した。

生徒にリーフレットを手渡す S クラブの会員ら（桂桜高）

# SI 大船渡 2022.11.25

陸前高田市アバッセ内のスーパーマーケットマイヤ様入り口前にて、会員がメッセージボードを掲げ、メッセージ入りのポケットティッシュを配布する形で「女性に対する暴力撤廃の国際デー」啓発活動に取り組みました。



**女性への暴力撤廃訴え**  
国際ソロプチニスト 陸前高田で街頭活動

「女性に対する暴力撤廃の国際デー」の25日、国際ソロプチニスト大船渡（田村福子会長）は、陸前高田市高田町のアバッセで、この日は会員10人が参加。DV相談ナビダイヤル（0120・279・889）や、悩み相談のフリーダイヤル（0120・240・261）などが記された啓発用ティッシュ200個を買い物客らに街頭活動で啓発物を配布する会員ら

ツッパリリボン配布など各地でキャンペーンが展開され、女性団体も参加。女性団体も参加。女性団体も参加。

田村会長は「もし、家庭内暴力などで悩んでいる人たちがいたら、こうした運動があることを知ってもらいたい」と話していた。

## SI 大曲 2022.12.21

秋田修英高等学校“S”クラブ茶話会開催に合わせて“キャッチ！SOS”キャンペーンを行いました。参加人数は生徒5名・会員9名・先生3名です。会長よりDV防止のお話があり、生徒の皆さんからキャンペーンボードに、それぞれの言葉を書き入れていただき啓蒙活動を行いました。すでに卒業後の進路も決まっている生徒さんも多く、これから社会に巣立っていく方々の将来の自分を守る力になりえる、とても良い時間を共有できました。



## SI おとふけ 2022.11.22

11月22日 SI おとふけ例会時にボードを掲げて、会員の皆さんで、より強く意識して、啓蒙活動を発信しました。

# SI 留萌 2022.11.18

11月18日の夕方に、「暴力から脱出する勇気を持ちましょう」と呼びかけるキャッチSOSキャンペーンを行いました。SI 留萌の松下会長、菅原エレクト、戸水広報委員長の3名で道の駅のもいに向い、トイレ入口に啓発チラシを入れたポケットティッシュに置かせて頂きました。



# SI 札幌 2022.10.28

10月28日、内山恭子会長と、國田プログラム委員長が北海道庁を訪れ、北海道保健福祉部子ども未来推進局、竹澤孝夫局長にオレンジリボン 2,000 個と、啓発ポケットティッシュ 5,000 個を寄贈しました。



# SI 札幌グローリア 2022.10.29/11.10

麻生キッチンりあん チャリティバザーでは、ピンクリボンティッシュ、オレンジリボンティッシュ、DVカード、ボードメッセージを紹介しました。駄菓子屋&子ども 若者の居場所の日(11・10)には“キャッチ SOS!”キャンペーンチラシや、オレンジリボンティッシュ無料配布、DVカードなど、改めて設置をお願いしました。学生、関係者含め6名 いました。



# SI 札幌ノイエ 2022.10.17/11.21

「札幌市へのオレンジリボン贈呈式」啓発リボン及びメッセージティッシュを寄贈しました。認証30周年記念式典にて、女性と女兒の夢実現のために「キャッチ！SOS キャンペーン～暴力撤廃の国際デー」をおこないました。



## SI 仙台 2022.11.27

DV 防止啓発のため、キャッチ！SOS キャンペーンカードを作成しました。必要な方に手に取っていただけるよう、公的機関などに設置させていただきます。



ひとりで悩んでいませんか

DV相談ナビダイヤル

#8008

配偶者、恋人、パートナーからの暴力であなたが「つらい」「こわい」と感じたら、それはDVです。ひとりで悩まず相談してください。



国際ソロプチミスト仙台

## SI 仙台-青葉 2022.11.24

NPO法人 ハーティ仙台 代表理事 八幡悦子さんを講師に、性暴力被害者支援についてお話を伺いました。今までに性暴力の事案を、裁判で解決してきた事例をご紹介頂きました。身近な所で性暴力撤廃の為に頑張っている団体から、直接お話を聞いたことは大変参考になりました。何かありましたらハーティ仙台にご相談下さいとのことです。(参加者8名)



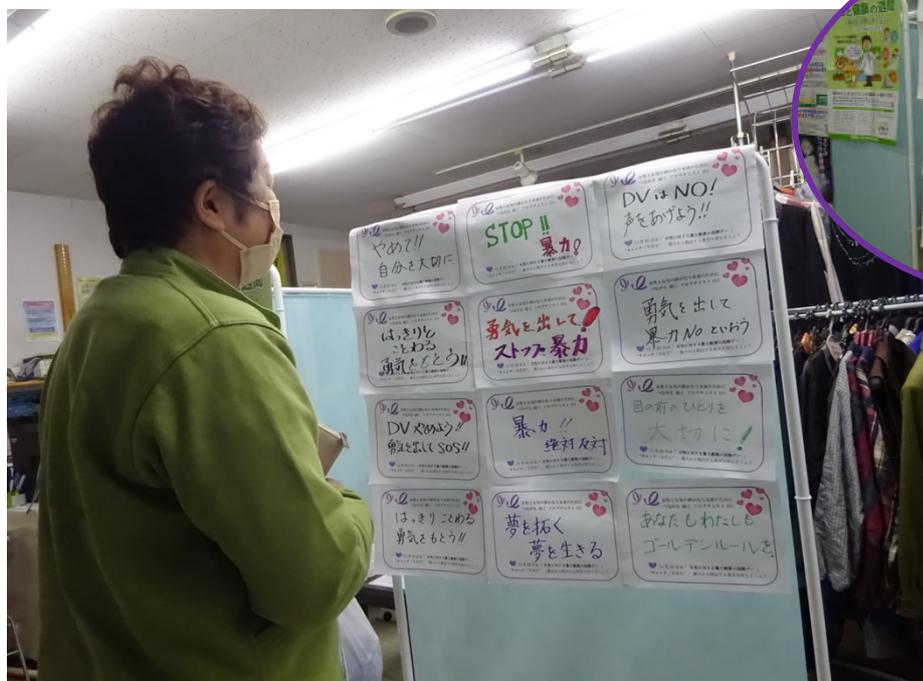
## SI 新庄 2022.11.22

今年度も会員9名が参加し、ニューグランドホテルの従業員の方々、宿泊の方々に、「女性に対する暴力撤廃の国際デー」について説明して理解してもらい、ティッシュを配りました。



## SI 田村 2022.11.15

例会が始まる前にキャッチコピーを記入、例会時今期の活動方針を検討しました。コロナ禍が東北地区ではやっている  
ので、統一行動はとらない。各自職場で活動することに決定。家に持ちかえり張り出し、お客様に説明。





## SI 横手 2022.11.3

秋田ふるさと村において、チラシやマスク、ティッシュなどを配布しながら児童虐待防止、DV 及びデートDV 防止活動を実施。参加者は、会員 15 名高校生 12 名、横手市、横手警察署、少年保護育成委員会の皆さんなど 38 名。



## SI 米沢 2022.11.27

グランドホクヨウに於いて、チャリティークリスマスコンサートを開催。218 名のご来場を頂き、米沢市社会福祉協議会様に寄付の贈呈を致しました。同時に“キャッチ SOS”キャンペーンをいたしました。

